



5



6



7



4



2



3



1

命を守れ 財産を守れ

26年度町総合防災訓練

町総合防災訓練は、9月28日、吾妻小・中学校をメイン会場に、消防団、地域住民や吾妻幼稚園児、吾妻小・中学校の児童生徒、関係機関の協力のもと、約300名が参加し実施されました。

訓練は、地震、降雨による土砂災害や河川の増水、火災などを想定し行われました。参加者は、近年多発するさまざまな災害に備えるため、真剣な表情で訓練に取り組みました。

主な訓練内容は次のとおりです。

第1訓練

【想定】

震度6強の地震により家屋が倒壊し、負傷者が発生。また、降雨により地盤が緩んでいるため土砂災害の危険あり。

【訓練内容】

- ・災害対策本部設置訓練
- ・広報訓練
- ・災害状況調査訓練
- ・交通障害除去訓練
- ・救護訓練
- ・避難所設置訓練
- ・炊き出し訓練

第2訓練

【想定】

吾妻幼稚園、吾妻小・中学校で火災が発生

【訓練内容】

- ・避難訓練
- ・救助救出訓練
- ・中継送水訓練
- ・消火訓練、煙体験

第3訓練

【想定】

酸川で草刈りをしていた住民が増水により中州に取り残された。また、さらに河川が増水し、住宅地へ越水のおそれあり。

【訓練内容】

- ・救助救出訓練(防災ヘリ)
- ・水防訓練

災害は、いつどこで起きるか分かりません。また、「絶対大丈夫」という方法も存在しません。そのため、まずは「自分の命を守る」「けがをしない」ための環境づくりが重要です。

まずは、防災用品の準備や家具の転倒・落下防止、避難場所までのルートの確認など、身近なことからできる防災対策をしましょう。また、これからの季節は、ますます寒くなり火気を使用する機会が増えることで、火災も起こりやすくなります。火災を起こさないよう十分注意しましょう。

1_吾妻中の屋上に取り残された人の救助救出訓練には、最新型のはしご車が出動 2_「ぼくたち、わたしたちは、ぜったいに火遊びはしません」と誓う吾妻幼稚園児 3_ 婦人消防連絡協議会と日赤による応急給食訓練 4_ 倒壊家屋から助け出した人の救命処置訓練。地域住民が本番さながらの真剣さで臨んだ 5_ 消防署員と消防団員による放水訓練 6_ 酸川の河川敷では消防団員が土のう積み訓練 7_ 初期消火訓練に挑む吾妻小児童 8_ 地域住民らによる避難訓練 9_ 県防災ヘリが出動し、酸川の中州に取り残された人をつり上げて救助 10_ 警察署員が交通障害となる倒木と車両の除去を行った 11_ 避難訓練を行う吾妻幼稚園児



8



9



10



11